

## ごあいさつ

うるま市のまちづくりの根幹をなす都市計画において、市土地利用のあり方から道路・公園等の都市施設の配置や市街地整備に関する事項について、将来のまちづくり方針を示した「うるま市都市計画マスタープラン」を平成22年3月に策定し、「人・自然・歴史文化の調和する、活力ある都市」の将来都市像の実現に向けて施策を展開してまいりました。



当初の計画から、10年以上が経過し、急速に進行する少子高齢化や人口減少、大規模な自然災害・気候変動に加え、新型コロナウイルス感染症の流行など本市を取り巻く状況は大きく変わりました。また、まちづくりには、国が推奨する Society5.0 の実現、持続可能な開発を目指す SDGsの達成や IoT を活用したスマートシティの実現などが期待されています。このような時代の変化に対応するため、うるま市都市計画マスタープランの改定を行いました。

新たなマスタープランでは、これまで積み重ねたまちづくりを継承しつつ、これからも人々に愛され、住みよいまち「うるま」を実現するため、「人・自然・歴史文化が調和し、特色ある拠点がネットワークで結ばれ、都市の豊かさが次世代へ受け継がれるまち」を新たなまちづくりの方針とした「第2次うるま市都市計画マスタープラン」を策定し、市民・事業者・関係団体の皆様と共に協働によるまちづくりを進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、市民・学生アンケートや地域別説明会など幅広い市民参画の機会を通して、貴重なご意見をくださいました市民の皆様、専門的な分野からご意見・ご提言をいただきましたうるま市都市計画審議会をはじめとする多くの関係者の皆様に対し、心より感謝申し上げます。

令和5年3月

うるま市長

仲村正人